

保護者の皆様

岡山大学教育学部附属小学校  
校長 前田 潔

## 台風や前線の接近・通過に伴う不測の事態への対応について

例年この季節には台風や前線の接近・通過等による暴風や大雨のために、路線によってはバスが大幅に遅れたり用水路等が増水して道路に冠水したりなど、子どもたちの登下校にも影響が出ることがあります。

つきましては、梅雨前線や台風の接近などに伴う不測の事態への対応について、改めて確認をお願いしたいと思います。今年度は「ふぞくの子ども」の「緊急の場合」(p26～)という項目の記述が変更されています。ご確認の上、これに即して対応のほどよろしくお願いいたします。

### 1 警報が発令されたとき

#### (1) 登校前

- ア 暴風警報、大雪警報、暴風雪警報が午前6時現在で発令されている場合は、休校になる。(すべての警報=休校というわけではない)
- イ 暴風警報や大雪警報が発令されていない場合でも、学校長の判断によって登校を見合わせる場合があるが、その時は、学校より連絡網やメールサービスによって連絡するので、学校には問い合わせの電話はしない。
- ウ 暴風警報、大雪警報、暴風雪警報が発令されていない場合でも、保護者の判断によって、登校が危険であると考えられる場合や、交通機関が不通の場合は、登校をみあわせる。(欠席にはならない。学校に電話連絡などができればする。)

#### (2) 登校中・下校中

- ア 状況にもよるが、数人で登校している場合や周囲に附属小学校の人がいる場合は、上学年の人が判断し、適切な処置をとる。(たとえば、安全な場所に移り、近くの家、または大人にわけを話して、家族や学校に電話連絡をするなど)

#### (3) 学校にいるとき

- ア 先生の指示に従って行動する。
- イ 状況によっては、安全なうちに通学班ごとにまとまって下校する。
- ウ 通学班の関係でまとまって下校することが困難なときは、保護者が迎えに来るまで学校で待つ。

「ふぞくの子ども」P26より一部抜粋

※抜粋部分以外にも「特別警報」「避難勧告」の場合等が追記されております。必ずご確認下さい。

本校は学区が広いので、大雨や台風等による影響が地域により異なると考えられます。そこで、警報が出ていない場合でも、ご家庭周辺の道路や河川、交通機関等の状況をみて、危険時には子どもの安全確保のために登校をみあわせるようにお願いします。

また、登校した後に暴風警報が発令される場合も考えられます。上記(3)のイウにありますように、早めの下校になる場合や、お迎えをお願いする場合があります。その場合には、PTAメールサービスと各学級の連絡網でお知らせしますので、ご対応をお願いいたします。なお、早期に下校する際には、次のことを学校で確認します。お子様が下記の2点について答えられるように、日常的にご指導くださいますようお願いいたします。

① 早期に帰宅した際に、家に家族がいるかどうか

② 自分で家に入ることができるかどうか

(鍵をもたせる、鍵の置き場所を知らせておくなどの対応をお願いいたします。)

\* お子様が家に入れることを確認できた場合のみ、(3)イの対応となります。